

社会保障を再建し、 「ともに生きる社会」をつくる！



(1) 党政調の「**社会保障と税の抜本検討**」に参画し、党の報告書に数々の先進的な政策の他に、これからの社会保障再建のために国民に求める財源は、「**負担ではなく、ともに生きる社会を創り支えるための分担金である**」という基本理念を盛り込ませました。

(2) 向こう一年間の民主党政権の最大の使命の一つである**社会保障の再建**のために最も重要なことは、単に国民の皆さんに新たな財源を求めるだけでなく、私たちが一人一人のかけがえのない幸せと尊厳が守られる本来あるべき制度を着実に創っていくことにあります。

そうした取り組みを執行していくための不可欠な法律であり、また何より、社会保障の再建が自民党政権の時からそうであったように与野党の政争の狭間で抽象的な議論で終わるのを防ぐ役割をも担う**医療基本法の制定に向け議員連盟を設立**し(事務局長に就任)、志のある官僚グループや専門家と法案の策定を進めています。

(3) また、**社会保障の再建**で忘れてはならないことは、**最も大きな尊厳の危機に直面しているにもかかわらずこれまで制度の谷間などで見放されてきた方々を包摂(ほうせつ)する**

新しい福祉国家を創ることです。そうした目的意識を持って、**障がい者基本法の抜本改正**に参画し、また**党の難病政策の責任者**として医療や福祉の改革に取り組みました。

なお、障がい者基本法の抜本改正については、基本理念たる基本法では本来不要なはずの「可能な限り(の政策でよい)」という霞ヶ関が盛り込んで来た留保条項を削除させるべく孤軍奮闘したものの、政権と党政調が一体となった政治主導を機能させることができず苦杯を舐めましたが、一級障がい者の父親の人生に寄り添った思いを胸に、今後の基本計画や総合福祉法案の策定に当たって基本法の本旨を実現すべく全力で取り組み決意です。

民主党には社会的弱者に真摯な思いを寄せざるべき議員がたくさんいますが、時に霞ヶ関官僚と対峙しその抵抗を退けるにはこちらも法制度の専門的な知見が必要となることがあります。断腸の思いですが、震災直後の震災対応業務に忙殺され、事前に政権や同僚議員にこうしたサポートを十分に行うことが出来ませんでした。



先輩議員とともに難病対策に取り組む

(4) 私の政治の原点である**脳卒中**の後遺症(寝たきりと失語症)であった父親の介護経験から、**脳卒中对策基本法案**の策定に取り組み、2月に設立された**7党からなる超党派議員連盟**の事務局長に抜擢されるとともに党政調の脳卒中对策WGの役員に就任し、早期成立に向けた重責を担うことになりました。私が起草した要綱案では、急性期に財政を集中投下することによって後遺症による医療費や介護費用を削減することが出来るという、尊厳の保持という医療の本旨のみならず医療経済的に見ても正しい脳卒中医療の実現を可能とする医療法や予算単年度主義の財政法の前ではこれが出来ません。

また、依然諸外国以下の医療水準にあり、限界を指摘されている**がん対策基本法の基本計画**の5年ぶりの改訂作業に患者団体の皆さんと連携して政治のリーダーシップを発揮して取り組んでいます。



DV法改正WGで事務局長を務める
(※大震災後は被災地での被害防止のため全国からの婦人警官派遣などの提案を行いました)

(5) 長らく女性問題に取り組んで来られた先輩の女性議員からお声掛けを頂き、社会の目が届かないところで生じている深刻な被害を防ぐための**DV(配偶者暴力)防止法の改正の責任者**として抜擢され、被害者保護の実行力を国際水準(II配偶者以外の**デートDV**も対象)のものに引き上げるとともに、救済機関の全国展開を実現するという難しい法制度の立案に取り組みんでいます。



脳卒中对策



※ねじれ国会の中で「超党派議員連盟」を立ち上げるため、事前に民間シンクタンクと連携して諸外国の先進的な脳卒中医療の「超党派助成会」を開催しました(写真は準備会合 1/19)
※脳卒中对策については私のコメントがマスコミでも大きく取り上げられました(左)。

平和外交の推進 のために！

両親の出身が広島であることなどから、私は、平和外交による国際貢献の推進に取り組む信念を持っています。**ODA特別委員会の派遣**で、戦後欧州最大の内戦であった旧ユーゴ紛争諸国の日本の復興支援策を視察しました。

内戦後、異なる宗教(カトリック、セルビア正教、イスラム教)から成る三民族の子供達が別々の教室で授業を受ける事態となった**ボスニア・ヘルツェゴビナ**において、①その融和のための共通クラスであるIT教育プログラムの実践など、民族的に地勢的に日本しか出来ない支援策を「草の根NGO」として行う一方で、②当国全体の教育政策のあり方を決めることが出来る「戦後日本のGHQ」に該当する首都サラエボに置かれた「上級代表部」に、その運営資金の一部を負担していたにもかかわらず低位の派遣人事(しかも1~2年の短期交代)を繰り返していた**外務省の平和外交政策の体系的欠如**について、国会で**外務大臣に問いた**だし**抜本的な改善を求めました**。

また、単なる視察に留まらず、かつて経産省で**ODA業務**に携わった経験を生かし、セルビア共和国全体の50%以上の電力を賄う**火力発電所に対する日本の環境インフラの大型ODA案件の成立**を導きました。



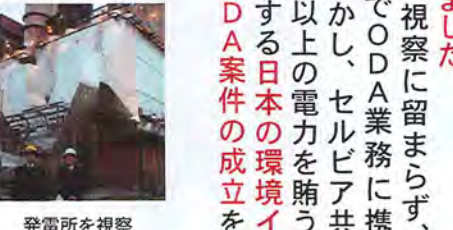
ボスニア・ヘルツェゴビナの「マッカーサー」ことインツコ上級代表と



セルビア副首相とのODA協議



三民族が唯一ともに学ぶ「IT教育プログラム」の生徒達と



発電所を視察

千葉県の発展 のために！



県選出の代議士とともにアクアラインの国庫補助の継続のため馬淵国土交通大臣(当時)へ意見申し入れをしました。



千葉県の医療再建にとって重要な地域医療再生基金(補正予算)の交付条件が、全国で最も厳しい医療資源により全国で最も急激な高齢化を迎える千葉県に適合するものとなるよう厚労省と議論を重ねました。(写真は千葉大医学部のプログラムによる県内7箇所の高齢期医療センターの視察)



千葉県の女性議員の方々と千葉県の男女共同参画条例のあり方について議論させて頂き、基本法の趣旨からあるべき姿をご提言しました。

ご意見、ご提言をお願いします！

小西ひろゆきは、国民、県民の皆さまの声を国政で実現して参ります。皆さまからのご意見等の全ての内容は、必ず小西ひろゆき本人が確認させて頂きます

FAX : 03-6551-0915 メール : info@konishi-hiroyuki.com

後援会、サポーター、ボランティア大募集中！

公募で選ばれた小西ひろゆきは、千葉県内に大きな地盤がございません。5年後の参院選に向けて小西ひろゆきを育てて下さる後援会を募集しています。(※会員の方には、月一度の国政報告を申し上げます。)

また、地元活動を支援して頂くサポーターやボランティアの方のほか、永田町の議員会館でインターン生(※)を大募集しています。

※大学生などを対象。官僚との政策討論、党政調での議論、国会傍聴など、実務政治家のエキサイティングな政策立案の生の現場を体験頂けます。(交通費支給)

※お問い合わせ、申し込みは表面の千葉事務所あるいは議員会館事務所までご連絡ください。

寄付のお願い

小西ひろゆきの活動に賛同し応援して下さいの方へ、寄付のお願いをさせて頂いております。現在、政策活動を支えるため議員会館の**政策スタッフの補充**の必要に迫られています。かつての総務省課長補佐時代は部下が6人いましたが国会議員の公設秘書は3人のみで、地元活動を中心に既に複数の私設秘書の採用を余儀なくされています。こうした中、一人でも多くの政策スタッフがいればより多くの大切な政策を手がけることができます。多くの方の少しずつのご寄付で適います。何卒、ご支援をお願い申し上げます。

振込先 千葉銀行中央支店 「民主党千葉県参議院選挙区 第五総支部」
普通預金 店番号 001 口座番号 4150537

※お振り込み頂きましたら、お電話またはメールでご一報頂けると幸いです。

TEL : 043-247-2121 (千葉) または 03-6550-0915 (議員会館)
メール : info@konishi-hiroyuki.com

※法令上、5万円を超える場合は寄付した方の氏名、住所、職業が開示されます。